

学校教育目標

互いに人格を尊重し、ねばり強い実践力をもち、
主体的に行動できる人間を育成する

目指す生徒の姿

- 自分や仲間のよさに気づき、自分の生き方に自信をもち、仲間の生き方を互いに尊重できる生徒
- ひと・もの・ことに関わり、自分の考えと責任感をもって主体的に行動する生徒



令和7年度重点目標「生徒一人一人の主体性を育む手だてと支援の充実」

■何ができるようになるか

- 学習、体験したことを生かして新しいことに挑戦できる。
- 自分は何をすべきか考え、自信と責任感をもって行動できる。
- 自分と異なった意見も尊重し、一人一人の存在を大切に行動できる。

■何が身に付いたか

- 子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援する。
- 子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していく。



■何を学ぶか

- 教科等のねらいに即した学習を進める。
- 学びを進めるために必要な基盤（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）について学ぶ。
- 様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する。
- 探究的な学習の過程を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく。

■どのように学ぶか

- 学び方を身につけ、課題解決の見通しをもって自分で学習をすすめ、学んだことを自覚し、次の学びに生かす。
- 多様な他者と関わり合い、協働して様々な課題を解決していく。



■実施するために何が必要か

- 授業づくり
 - ・指導の個別化と学習の個性化を図るための授業準備（ICTの利活用）
 - ・地域人材、地域素材の発掘、共有 ・小諸市一貫教育に向けた小中接続
- 学校づくり
 - ・家庭、地域との情報共有及び連携、協働・生徒と向き合う時間の確保（専門性の向上） ・部活動地域移行の推進
- 生徒の主体的な取組へ
 - ・互いの違いを認め合うあたたかな学年、学級経営 ・生徒のアイディアを生かす自治的な生徒会運営
 - ・人権同和教育の充実
- 生徒理解
 - ・生徒理解のためのアセスメント、懇談の実施 ・いじめ等に対する適切な初期対応及びチーム対応
 - ・就学支援委員会、登校支援委員会を中核とした学びの場の検討（学ぶ力をどう育成するか）